



研究交流委員会大会前企画

ナラティブの森を めぐる

ビジュアル⇄ナラティブ ⇄フィールドの往還と地域づくりワークショップ

2025.08.22 (金) 11:45-17:30

会場： 茨城大学 水戸キャンパス (茨城県水戸市文京2-1-1)

ビジュアル、ナラティブ、フィールドは質的研究において頻繁に登場するテーマですが、それらとどのように関係を結び、ともに新たな知見を生み出していくのかはとても重要な点であると言えるのではないのでしょうか。

この企画では、茨城県の複数地域のフィールドで収集したナラティブを用いて、印象的なナラティブを文字のみで展示した「ナラティブの森」と、ナラティブをビジュアル化して示したデジタルマップ「語りマップ」を用いて、ナラティブでめぐる地域とビジュアルでめぐる地域を体験していただきます。

また、地域住民の方との語り合いやワークショップ、まちあるきを通じて、ビジュアルとナラティブの関係性、そしてフィールドとの往還の中で研究と地域づくりに得られるものについて参加者のみなさまとともに考えていく企画です。

主催： 日本質的心理学会 研究交流委員会

共催： 茨城大学 地球・地域環境共創機構(GLEC)



program



「ナラティブの森」体験

茨城大学伊藤哲司ゼミやつどう・つながる・つむぎだすラボ^{*}では、台風により水害にあった地域やむかし花街があった地域など、茨城県内の複数地域を対象に住民の方々の過去・現在・未来に関するナラティブを収集してきました。今回は、印象的なナラティブを文字のみで展示した「ナラティブの森」を体験いただきます。

■参考：ナラティブの森 過去の展示会内容■

<https://www.ibaraki.ac.jp/news/n/2024/05/16012358.html>

<https://events.admb.ibaraki.ac.jp/2024/22001109.html>

<https://events.admb.ibaraki.ac.jp/2025/12001230.html>



ワークショップ

地域住民のナラティブによって作られた「語りマップ」や写真等のビジュアル、そして地域住民の方の語りを聞きながら、ビジュアルとナラティブ、そしてフィールドとの往還の中で研究と地域づくりに得られるものについて考えます。

語りマップ



フィールドワーク（まちあるき）

ナラティブを収集した水戸市内の地域を地域住民の方とともにご案内します。

*「つどう・つながる・つむぎだすラボ」・・・・・・紹介ホームページ・・・・・・

現代社会が直面するさまざまな地域課題を調査・分析し、市民主体の活動を通じた解決策を探究することをベースに活動している団体。

地域のさまざまな主体がつどい、つながり、あらたな知見や活動をつむぎだすことを通じて、地域社会の更なる活性化や課題解決に貢献することを目指している。

定員 20名（抽選）全日程参加できる方優先

参加費 無料(交通費・宿泊費・現地での飲食代等は各自負担)

申込 申込フォーム（URL・二次元コード）よりお申込みください。

<https://forms.gle/sMTbTiX3hB4yvjD86>

締切：2025年7月11日（金）12時

（抽選結果については、7/14（月）17時までにご連絡いたします。）



・お問合せ・

日本質的心理学会 研究交流委員会

info_jaqp_koryu2025@googlegroups.com

（担当：杉浦・杉山・高森・李・張）

